

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 5号)

2019年11月27日発行

兵庫のみ研究所

兵庫県水産技術センター

この海域沿岸域では前回調査同様にユーカンピアの発生が多い状況にあります。今回調査は、潮時が上げ潮～満潮ということもあり、大阪湾から流入する海水の影響が二見漁場東部まで見られました。窒素は二見西部以西で2～3 μg at / L台、二見東部以东で概ね5～6 μg at / L台となっており、全般に前回調査と比較しやや上昇した値を示しました。

(水温) 漁場内平均18.5℃。平年比1.0℃、昨年比0.3℃それぞれ高い。**(塩分)** 平均31.86psu。前回(31.28)より約0.6psu高い。**(栄養塩、珪藻)** ユーカンピアは二見から別府周辺の地先で、海水1mlあたり200～350細胞と依然として発生量が多い状況。その沖筋や江井ヶ島以东においては、潮時が上げ潮ということもありほとんど確認されなかった。コシノディスカスは、多い調査地点で海水1Lあたり80細胞と減少しており、それ以外の珪藻はわずかに見られる程度で少ない状況。

※プランクトンの計数は県水産技術センターに協力依頼しています

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	18.1	18.5	17.5	18.2
窒素	1.8	5.5	7.4	9.5
リン	0.42	0.66	0.66	0.73

(11/21)

(11/27)

西播地先

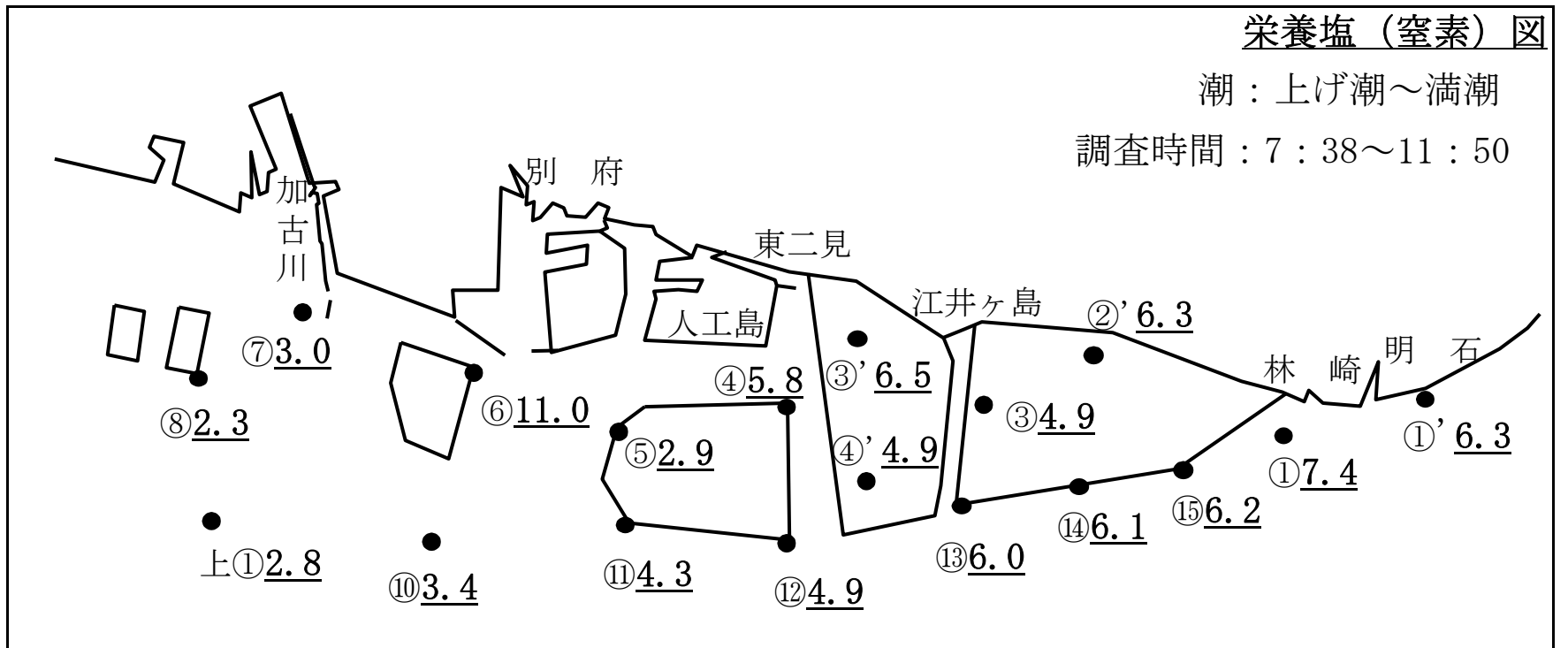
伊保地	水温	17.9℃	伊保沖	水温	18.1℃
	窒素	1.2		窒素	2.4
	リン	0.53		リン	0.63
白浜地	水温	17.8℃	白浜沖	水温	17.5℃
	窒素	1.3		窒素	2.1
	リン	0.54		リン	0.54

2019年11月27日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7:38～11:50



水温図

